



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成 22 年 9 月 6 日

環境大臣 小沢 鋭仁 殿

富士通株式会社
代表取締役社長

山本正巳

富士通グループは、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、先進的で革新的なグリーン ICT の提供や、事業活動におけるさらなる環境負荷の低減を行うとともに、生物多様性の保全へ強力に取り組んでまいります。

1. グリーン ICT の提供により、お客様・社会の環境負荷を低減します

- コンピューターや通信機器などの ICT 機器のエネルギー効率を 2009 年度比で 2 倍以上にする技術を開発します。また、技術開発において、お客様や社会の環境負荷低減に貢献するソリューションを支える技術の開発割合を 35%以上にします。
- 環境配慮トップ型製品*1や環境負荷を低減するソリューションなどのグリーン ICT を提供することにより、2020 年において国内のお客様・社会全体の CO₂ 排出量を年間 3,000 万トン削減することに貢献します。
- 富士通リサイクルセンターにおいて、企業で使用された ICT 製品の資源再利用率 90%をグローバルで維持します。

2. 自らの事業活動における環境負荷を低減します

- 2020 年までに、温室効果ガスの総排出量を国内で 1990 年度比 25% 削減します。この目標を踏まえ、2012 年までに国内で 1990 年度比 9%削減、グローバルで同 6%削減します。また、国内で、再生可能エネルギーの利用率を 2007 年度比 3 倍にします。
- 国内輸送にかかわる CO₂ 排出量を 2008 年度比 11%削減します。また、CO₂ 排出抑制・削減の取り組みを実施するお取引先からの調達を推進します。
- 生産事業所において、環境に影響がある化学物質 (PRTR 対象物質や VOC) の中で使用量の多いものの排出量をグローバルで 2007 年度比 10%削減、廃棄物発生量を 2007 年度比 20%削減します。また、国内生産事業所におけるゼロエミッション活動*2を継続維持します。
- ICT の導入を推進し、効率的かつ効果的な環境マネジメントシステムを構築します。目標の達成度合、法規制の順守状況などを総合的に判断する仕組みを主要な国内製造系グループ会社に 100%適用します。
- 富士通グループの各組織で、ステークホルダーとの積極的な環境コミュニケーションを推進します。
- 社会貢献活動の情報共有システムを構築します。また、本情報も活用して世界の全拠点で継続的に環境社会貢献活動を行います。

3. 生物多様性の保全を実現する社会づくりへ貢献します

- 自社で定めた事業活動における生物多様性への影響や貢献を測る定量指標による評価値を、2009 年度比 3%削減します。
- 生物多様性保全の取り組みを実施するお取引先からの調達を推進します。
- ICT を活用した生物多様性保全に貢献するモデルケースを主要な事業所で構築します。
- 森林保全活動や、環境出前授業などを通じた啓発活動を世界の全拠点で実施します。

[注釈]

上記内容は、特に記載のない場合、2012 年度末を達成年としています。

*1 環境配慮トップ型製品：省エネルギー、3R 設計(廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化を考慮した設計)、化学物質、包装、情報開示など、自社で定めた環境基準をクリアした製品のうち、省エネルギー、省資源化などの環境性能が世界・国内業界トップレベルである製品です。

*2 ゼロエミッション活動：分別の徹底や再資源化設備の導入を通じて、事業活動で発生する廃棄物はもちろんのこと、社員食堂の生ごみなども含めた廃棄物を 100% 有効利用することで、埋め立て、単純焼却をゼロにします。

富士通グループは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、環境省へ報告するとともに、「富士通グループ社会・環境報告書」などによる公表を行ってまいります。